

ちばSSKネットワーク

しない、させない、孤立化!

～ INDEX ～

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 参加団体の取組事例 | 2 市町村事業の紹介 |
| 3 高齢者虐待 | 4 千葉県の認知症施策 |

◆ トピックス

高齢者4人に1人は認知症！「予備軍」含め862万人！！

昨年 6 月に発表された厚生労働省研究班の調査結果では、平成 24 年時点で、全国の 65 歳以上の高齢者のうち認知症の人は、推計 15%で約 462 万人、軽度認知障害と呼ばれる「認知症予備軍」の高齢者も約 400 万人いるとされ、4 人に 1 人が認知症とその「予備軍」となることがわかりました。また、年代別の有病率は、74 歳までは 10%以下ですが、85 歳以上では 40%超となっています。この結果を千葉県の高齢者数に当てはめると、認知症高齢者数は約 20 万 3 千人となります。今後、県や市町村による認知症施策の推進はもちろん、地域住民の力による地域づくりが必要不可欠となっています。

H24 度高齢者虐待件数 15,357 件 (千葉県 720 件) (H25.12)

本県における平成 24 年度の高齢者虐待の件数は、家庭におけるものが 714 件、養介護施設におけるものが 6 件となっています。家庭内におけるものは 2 年連続で減少しており、早期発見等の取組みが進んでいる一方まだ表面化していないケースも想定され、一層の普及啓発・体制整備が求められます。また、養介護施設においても、県立障害者支援施設での虐待事案を受け、改めて早期発見・早期対応の徹底を図る必要があります。

男性ひとり暮らし高齢者の孤立化！(H25.7)

国立社会保障・人口問題研究所による調査で、「普段どの程度、人(家族を含む)とあいさつ程度の会話や世間話をしますか(電話も含む)」との質問に、男性一人暮らし高齢者の 16.7%が「2 週間に 1 回以下」と回答し、社会的に孤立している状況が判明しました。こうした中、本県において孤立化防止ネットワークを整備している市町村数は 19 市町村(H24.6 時点)→28 市町村(H25.6 時点)となるなど、体制整備も進んできています。

(事務局) 千葉県健康福祉部高齢者福祉課
TEL 043-223-2237

参加団体の取組事例

「高齢者を地域で支えるネットワーク会議」の構成団体で行われている積極的な取組事例について紹介いたします。

◆ 千葉県人権擁護委員連合会

～ 高齢者に対する人権擁護活動 ～

人権擁護委員

- 人権擁護委員は、法務大臣の委嘱を受けて活動している法務省管轄の制度ボランティアです。
- 制度の発足は昭和23年で、65年の歴史を経ています。
- 全国で14,000人弱、千葉県では440人余の委員が活動しています。
- 活動の中心は『人権思想の普及と高揚』にあり、一般的な啓発活動や相談活動等に取り組んでいます。

活動内容

毎日、面談あるいは電話による相談を受け付けています。

人権侵犯の可能性のある事案については、調査と救済に関与することもあります。

相談内容は万般に亘っています。

- 人権問題一般の相談（高齢者相談を含む）
- 女性と子どもに特化した分野での相談
専用電話「女性の人権ホットライン」
「子どもの人権110番」設置
- 強化週間と銘打った電話相談・広報
「高齢者・障害者の人権あんしん相談強化週間」
毎年1回実施(平成25年は9月9日(月)～15日(日))

高齢者施設への出前相談活動も少しずつ広がりを見せています。



『急速に進んでいる人口の高齢化を踏まえ、高齢者に対する活動は、今後の人権擁護委員の活動の重点目標の一つと位置付けており、具体的な活動方法については模索をしている段階ではあるが、高齢者も社会の重要な一員として生き生きと暮らせる社会の実現を目指して、積極的に取り組んでまいりたい。』



◆ 一般社団法人 日本フランチャイズチェーン協会
～コンビニエンスストア セーフティステーション活動～

《千葉県に出店している JFA 加盟 10 社の代表的なブランド》



セーフティステーション (SS) 活動とは

一般社団法人 日本フランチャイズチェーン協会に加盟するコンビニエンスストアでは、日頃の営業活動に加えて社会的責任の一環として『安全・安心なまちづくりに協力』と『青少年環境の健全化への取り組み』を2つの柱とするセーフティステーション活動について自主的に取り組んでいます。

2012年度に高齢者に対する活動として、「御用聞き・配達時の緊急対応」も実施しています。千葉県では818店（県内構成比40.3%）が御用聞きを実施しており、そのなかで「事故や事件などの緊急事態に遭遇した」「具合が悪くなった方を発見」など96店で延べ137件の通報や連絡を行いました。

また、店舗での高齢者の保護は下記グラフのように千葉県で711件対応できました。

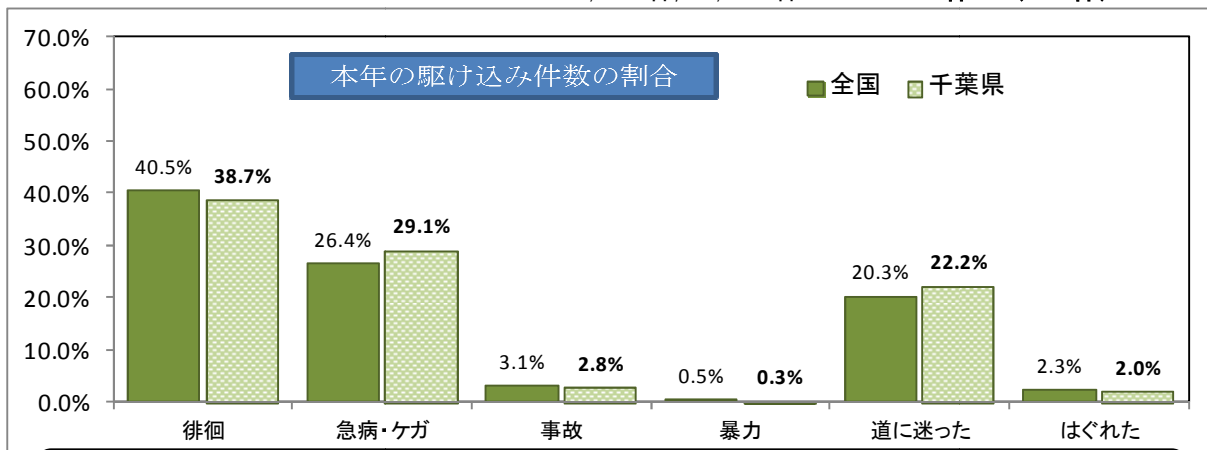


エズウくんのパスター

■ 高齢者の保護件数

《全国(前年)》
12,297 件/11,627 件

《千葉(前年)》
711 件 (693 件)



高齢者の保護件数は年々増加傾向にあります。徘徊/急病・ケガ/道に迷ったが保護の大半を占め、保護及び適切な通報等の対応を行いました。

市町村事業の紹介

各団体や行政が互いに協力し高齢者を地域で支えていくためには、まず各々がどのような活動をしているのか知ることが大切です。

市町村が直接、又は皆様の御協力を得て行っている見守り等の事業を御紹介します。

- 事業例 -

◆ 高齢者の安否確認

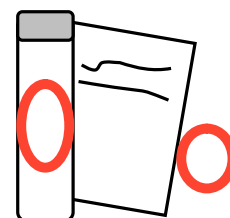
・お元気コール（我孫子市）

高齢者のみの世帯や介護者が就労等で 12 時間以上不在となる世帯の方に、電話で定期的に連絡をとり、安否の確認とともに生活上の不安を和らげる。

◆ 緊急通報体制の整備

・救急医療情報キット配付（いすみ市）

病気や災害時に迅速かつ適切に救急医療活動を受けられる体制を整えるため、65 歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみの世帯の希望者を対象に、救急医療情報キットを配布。



◆ 見守り活動への支援

・ひとり暮らし高齢者発見見守り活動支援事業（船橋市）

おおむね 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯に対し、定期的に声かけ等を行う地域の団体（自治会・町会等）に、活動に要した費用に対して補助する。

あつたか訪問	ひとり暮らし高齢者等に対して、安否確認や見守りを目的として、定期的に居宅を訪問する
地域声の電話訪問	ひとり暮らし高齢者等に対して、安否確認・話し相手・孤独感の解消を目的として、定期的に電話をする。
ひとり暮らし高齢者地域交流会	上記の見守り活動を行っている団体が、対象のひとり暮らし高齢者等に対して交流会を継続的に行う。

◆ はいかい高齢者の早期発見

・佐倉市 SOS 高齢者等事前登録事業（佐倉市）



認知症のかたの身体的特徴や緊急連絡先を市に事前登録すると交付される「SOSステッカー」（登録番号入りの反射ステッカー）を靴に貼ることで、外出時の安全や地域の見守り、行方不明時の早期発見に役立つ。

・「市の重要なお知らせメール」を使用した検索（浦安市）

はいかい高齢者が発生した場合、市役所から「市の重要なお知らせメール」を使用し、協力者（メール受信登録者）の携帯電話などに、はいかいしている方の特徴（性別、年齢、身体の特徴、服装など）をメールで配信し、地域ぐるみで早期発見に取り組む。



◆ 地域活動の促進

・千葉市介護支援ボランティア制度（千葉市）

市の研修を受講しボランティア登録した 65 歳以上の市民が、介護施設等でボランティア活動を行うと、ポイントが得られ、介護保険料や将来の介護保険サービス利用料に充てたり、寄付をすることができる。

◆ 同居支援による孤立化防止

・袖ヶ浦市世代間支え合い家族支援事業（袖ヶ浦市）

高齢者の孤立化を防ぎ、家族の絆の再生を図ることを目的として、離れて暮らしている高齢者である親と子等が市内で同居または近隣に居住するために、住宅の新築、購入、増改築または転居等をした場合の費用の一部を助成する。

◆ 買い物の支援

・宅配電話帳の配布（匝瑳市）

日ごろ買い物に不自由している人の買い物支援のため、配達・訪問を行っている市内の食料品店、電気店、理髪店等を掲載した「宅配電話帳」を作成し、要援護者台帳登録世帯などに配布。



◆ 移動の支援

・デマンドタクシー「きみぴょん号」（君津市）



予約を受け、利用者のデマンド（要望）に応じて、乗り合いをしながら目的地へ移動する交通手段であるデマンドタクシーを運行する。自宅（利用登録者のみ）などの指定場所から運行エリア内の目的地まで送迎を行う。

高齢者虐待

平成 24 年度の千葉県内の養護者(高齢者を日常的に世話をする家族や親族等)による高齢者虐待件数は、714 件でした。

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らしていけるよう、地域での見守り・声かけや早期発見に御協力ください。

◆ 虐待の種類

【身体的虐待】 65.1%※ なぐる、蹴る、つねる、無理矢理食事を口に入れる、拘束するなど	【心理的虐待】 41.2% 恥をかかせる、怒鳴る、悪口を言う、無視するなど
【介護・世話の放棄・放任】 25.2% 食事や水分を十分与えない、入浴させない、劣悪な住環境で生活させる、必要な介護サービス等を制限するなど	【性的虐待】 0.3% 排泄の失敗に対して懲罰的に下半身を裸にして放置するなど
	【経済的虐待】 18.6% 日常生活に必要な金銭を渡さない、使わせない、年金を本人の意思に反して使うなど

※ 平成 24 年度被虐待者数に対する割合

◆ 「虐待かも?」と思ったら連絡を

○ でも、一生懸命世話しているし・・・

虐待は客観的な権利侵害があれば、本人の自覚は問いません。

また、高齢者虐待防止法は「高齢者の安心・安全な生活の確保」と「養護者の負担軽減の支援」を目的としており、虐待した養護者を罰するものではありません。

○ でも、勘違いかもしれないし・・・

勘違いだった場合に、連絡者が責任を問われることはありません。

市町村が事実確認の上、虐待かどうか判断し関係機関と連携し対応します。

早期発見・早期対応が虐待の深刻化を防ぎます。

○ でも、自分が話したことがばれたら・・・

連絡者の情報は守られます。

「虐待かも?」

悲鳴やどなり声が聞こえる
汚れた服を着て異臭がする 等

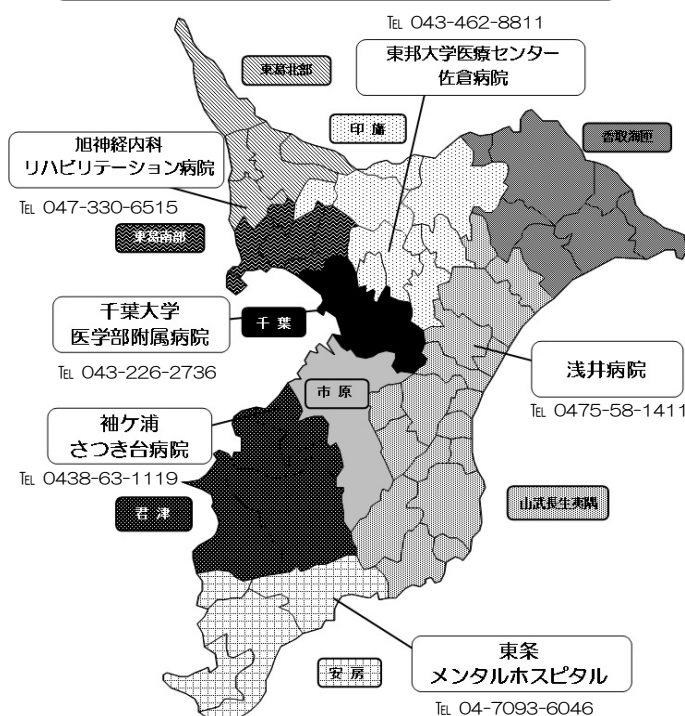
どなたでも
御連絡ください

お近くの高齢者総合相談窓口
「地域包括支援センター」

千葉県の認知症施策

全国2位のスピードで高齢化が進む千葉県では、高齢化に伴い、認知症の人も大幅に増加すると推計されています。そこで、県では、認知症対策の充実に努めており、さまざまな事業を展開しております。

◆ 認知症疾患医療センター



千葉県及び千葉市では、認知症に関する専門医療機関を認知症疾患医療センターとして指定しています。

何をするの…？

- 専門医療相談
(電話相談等による相談)
- 認知症の鑑別診断 (疾患の原因を特定し、治療方針策定に役立てること) とそれに基づく初期対応
- 身体合併症や周辺症状の初期診断・治療 (急性期入院医療を含む)
- かかりつけ医等への研修会等の開催等

◆ 認知症メモリーウォーク

「メモリーウォーク」とは、認知症に対する偏見を取り払い、理解を深めるために行う啓発活動 (パレード) です。

この活動は、平成19年9月16日に全国で初めて千葉県で実施されました。

平成25年度は、県内5ヶ所、千葉市、館山市、習志野市、君津市、浦安市で実施されました。

認知症対策は、認知症を正しく知ってもらった啓発活動から始まります。認知症高齢者やその家族が、地域で安心して暮らし続けるためには、皆さん一人一人の認知症に対する理解が何よりも必要となりますので、御協力をお願いします。



千葉県高齢者を地域で支えるネットワーク会議 構成機関・団体等一覧

(H26.3時点 53団体)

イオンリテール株式会社南関東カンパニー	千葉県商店街振興組合連合会
(一社)千葉県エルピーガス協会	千葉県商店街連合会
(一社)千葉県経営者協会	千葉県人権擁護委員連合会
(一社)千葉県経済協議会	千葉県新聞販売組合
(一社)千葉県高齢者福祉施設協会	千葉県信用農業協同組合連合会
(一社)千葉県歯科医師会	(JAバンク千葉信連)
(一社)千葉県社会福祉士会	千葉県地域包括・在宅介護支援センター協会
(一社)千葉県商工会議所連合会	千葉県中小企業家同友会
(一社)千葉県タクシー協会	千葉県中小企業団体中央会
(一社)千葉県バス協会	千葉県町村会
(一社)千葉県ホームヘルパー協議会	千葉県デイサービスセンター協会
(一社)千葉県薬剤師会	千葉県弁護士会
(一社)日本フランチャイズチェーン協会	千葉県訪問看護ステーション連絡協議会
(一社)日本民営鉄道協会(関東鉄道協会)	千葉市町内自治会連絡協議会
(公財)千葉県民生委員児童委員協議会	千葉司法書士会
(公財)千葉県老人クラブ連合会	千葉地方法務局
(公社)千葉県医師会	中核地域生活支援センター連絡協議会
(公社)千葉県看護協会	東京電力株式会社千葉支店
(公社)日本水道協会千葉県支部	(特非)千葉県介護支援専門員協議会
(公社)認知症の人と家族の会千葉県支部	(特非)ちば地域密着ケア協議会
(社福)千葉県社会福祉協議会	日本司法支援センター千葉地方事務所
生活協同組合コープみらい	(法テラス千葉)
千葉家庭裁判所	房総ガス協議会
千葉県経済同友会	千葉中央郵便局
千葉県在宅サービス事業者協議会	千葉県
千葉県市長会	千葉県教育庁
千葉県生涯大学校卒業生学習会	千葉県警察本部
千葉県商工会連合会	